

## 〈 前 夜 祭 〉



見晴らし屋様のご都合で、懇親会場が変更になりました！  
 〈 懇親会場変更：見晴らし屋 → 松風園 〉

前夜祭へ参加するにあたり、下記内容をご確認頂ければ幸いです。  
 スタッフ一同、お待ちしております！

当日緊急連絡先 080-6523-2057

## 全体の流れ

行きバス	14:20	バス出発／直江津駅南口からバス（松風園）が出発します	
	14:35	バス到着／春日山城・謙信公の銅像前・着（春日山城の中腹）	
集合	14:40	銅像前に集合（春日山城の中腹）	★雨天時の集合場所も銅像前
	14:40	春日山城の本丸に向けて出発	
	15:00	春日山城の本丸に到着	
角打ち	15:00	乾杯（角打ち開始）	◆リベットボタン・ライブ!◆
	15:45	春日山城を下山	
	16:00	バス出発／謙信公銅像前→松風園	雨天時予定 14:20 直江津駅南口バス発 14:40 銅像前集合 ～バス移動・埋文センター等見学～ 15:30 懇親会（～17:30迄）
懇親会 （松風園）	16:15	懇親会・開会	
	18:15	懇親会・閉会	
帰りバス	18:30	バス出発／松風園を出発します	
	18:40	バス到着／直江津駅前に到着	

## 注意事項

- ・「角打ち(かぢ)」とは、酒屋の店頭で升酒を直接飲むこと。転じて、店の一角を仕切って立ち飲み用にする。また、そこで飲むことです。
- ・「角打ち」では、各自お気に入りの「お酒」や「肴」を適当に持って来て下さい。
- ・雨天の場合は「各打ちを中止」し、15:30から「懇親会（松風園）」となります。

## 角打ちを楽しむ6ヶ条

- 第1条 お気に入りのお酒や肴を持って本丸に集まる戦前夜な感じを味わいましょう。
- 第2条 基本立ち飲みスタイルです。座って落ち着いて呑みたい場合には、椅子やレジャーシートなどを持参するのがいいでしょう。ただし、一般の観光客の迷惑にならないように、あまり幅をとらないようにしましょう。
- 第3条 せっくなので初めて会う人にこそ持参したお酒や肴をどんどん勧めましょう。新しい出会いが、翌日をもっと楽しくするはずです。
- 第4条 運営スタッフを見つけたら出来るだけ温かい労いの言葉をかけてあげましょう。翌日、超頑張るはずです。
- 第5条 長居はせず、本丸滞在は1時間程度として、速やかに現状復旧して下山します。
- 第6条 思いのほか盛り上がるので、呑み過ぎには注意して、翌日ちゃんと走れるようにしましょう。

## 直江津駅・南口

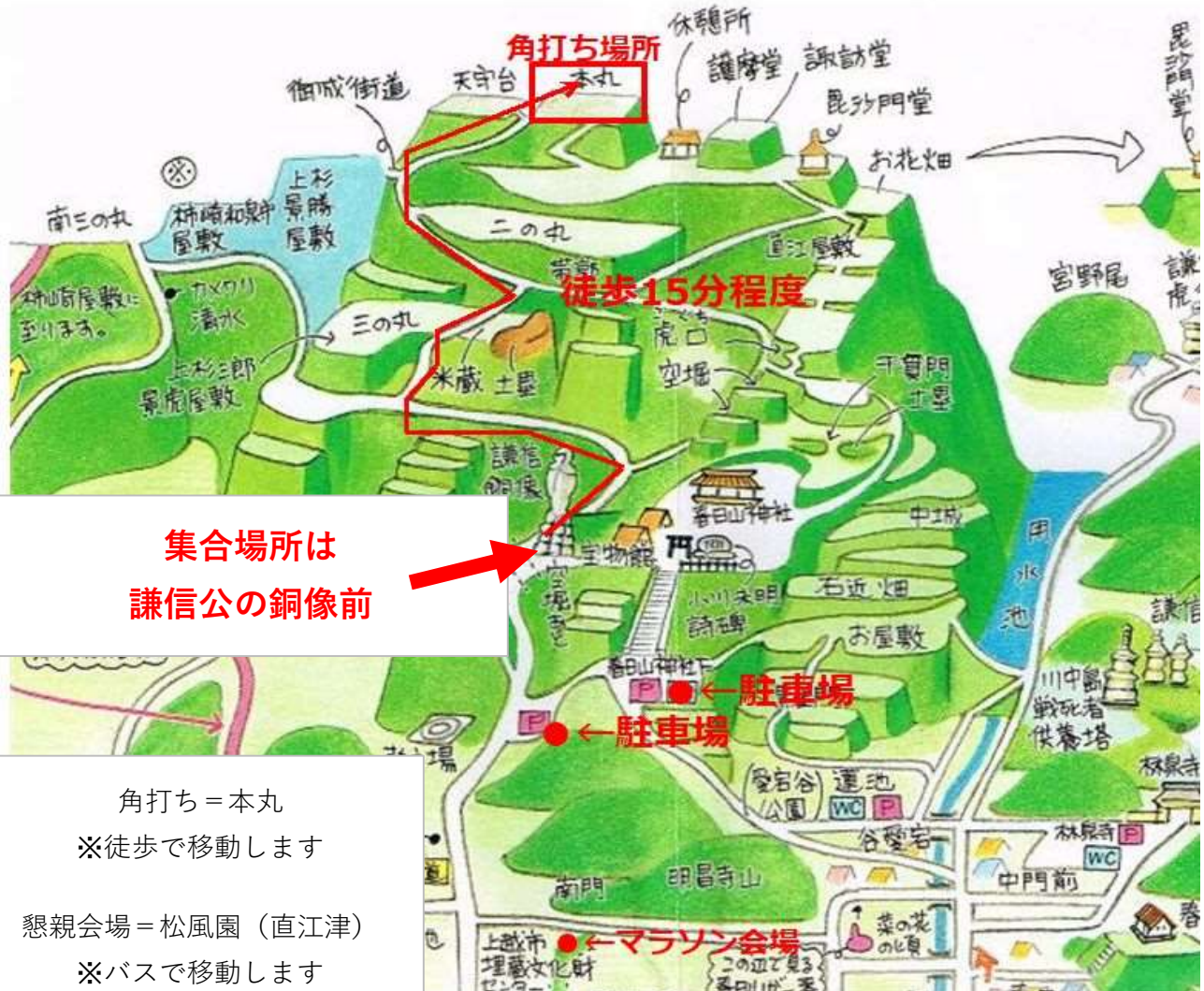
(えちごトキめき鉄道)



こちら辺に 「松風園」 のバスが停車

直江津駅の改札は1つしかありません

## 春日山城（前夜祭）



**集合場所は  
謙信公の銅像前**

角打ち = 本丸  
 ※徒歩で移動します  
 懇親会場 = 松風園 (直江津)  
 ※バスで移動します

# 〈 アフターパーティー 〉



2022年11月6日(日)18:30／ホテルハイマート

アフターパーティーに参加するにあたり、下記内容をご確認頂ければ幸いです。  
スタッフ一同、お待ちしております！

当日緊急連絡先 080-6523-2057

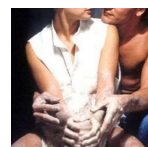
## 全体の流れ

行きバス	17:00	埋蔵文化財センター駐車場発（巡回バスの最終便）
	17:10	上越文化会館（更衣室）を經由します
	17:30	バス到着／ホテルハイマート着 ※スタッフも準備で乗車するので早い到着となっています。 ※準備が整うまで、適当にブラブラしてください。
パーティー	18:30	パーティー開始！
	20:30	お開き（宴もたけなわではございますが…）

## ドレスコード

「6（ろく）」から連想されるものを身に付けて来てください

※ちなみに、第5回目（2019年）のドレスコードは  
アフロでした。



## 注意事項

- ★はっきり言って、ただの打ち上げです。ランナーの皆さんとゆっくり呑みたいだけです。予想を超える仕掛けとか、なにか特別なものは一切ありません。本当です。
- ★普通のランナーさんはお疲れだと思いますので、無理せずゆっくり呑んで食べて楽しんで下さい。おそらくスタッフも疲れていると思いますので、あからさまに疲労感が出ていたら、少しだけ励まして下さい。
- ★昼間のきき酒で既にイイ感じになってる方は、もしスタッフがついていけなくても、気にせずやってください。
- ★もし運営について気付いた点をスタッフに伝える場合、まず良かったことを伝え、その後に悪かったことを伝えてください。  
いきなりのダメ出しを受け入れるメンタルの余裕が無い可能性があります。
- ★なんだかんだで最後は盛り上がると思いますので、2軒目、3軒目と冒険に繰り出してみることをオススメします。もし道先案内人が必要ならスタッフを無理矢理巻き込んでください。2～3人なら御供できます。（多分）